



松山市制130th  
～ 恋・故・知・新～

松山ブンカ・ラボ

×

NPO法人クオリティ・アンド・コミュニケーション・オブ・アーツ

シンポジウム

# いきる、つくる、くらす

## ～ 解き放つアート

多様化するアートと表現について考える（文化、教育、福祉の視点から）

生活者の視点から、表現とアートについて考えを深めていくシンポジウムです。

表現活動は、アーティストと呼ばれる人たちだけのものではありません。

生活のなかで、うれしくなって鼻歌をうたったり、かなしくなって想いを綴ったりするのもまた表現でしょう。

ささやかな表現とその人らしさを大切に、ひとりひとりに寄り添う場や機会をつくっている事例をとおして

「私」とアートを結ぶ議論を重ねていきます。

2019

11/2 土

14:00-17:00

[開場] 13:30～

会場

愛媛大学 城北キャンパス  
南加記念ホール

(〒790-0826 松山市文京町3番)

※公共交通機関をご利用ください。

定員

250名

参加  
無料

パネリスト

ヴィヴィアン佐藤

[敬称略・五十音順]

美術家、文筆家、非建築家、ドラッグクイーン

上田 假奈代

NPO法人こえとことばとこころの部屋、詩人

久保田 翠

NPO法人クリエイティブサポートレッツ

都築 響一

作家、編集者、写真家

愛媛大学 社会共創学部

松山ブンカ・ラボ

ART NPO  
QaCoA  
Quality and Communication of Arts

主催：愛媛大学社会共創学部 松山ブンカ・ラボ 共催：松山市、松山市文化創造支援協議会 後援：松山アーバンデザインセンター  
企画：NPO 法人クオリティ・アンド・コミュニケーション・オブ・アーツ、松山ブンカ・ラボ

# いきる、つくる、くらす ~ 解き放つアート

シンポジウム

## パネリスト [敬称略・五十音順]

### ヴィヴィアン佐藤 Vivienne Sato

美術家、文筆家、非建築家、ドラッグクイーン、プロモーター。ジャンルを横断して独自の見解ですべて分析。自身の作品制作発表のみならず、「同時代性」をキーワードに映画や演劇、都市など独自の芸術論で批評を展開。青森町おこしコンサルタント、尾道観光大使。サンミュージック提携。



### 上田 假奈代 Ueda Kanayo

詩人・詩業家。1969年吉野生まれ。3歳より詩作、17歳から朗読をはじめ。 「ことばを人生の味方に」と活動する。2003年大阪・新世界で喫茶店のふりをした拠点アートNPO「コロールム」をたちあげ、2008年西成・釜ヶ崎に移転。2012年、まちを大学にみためた「釜ヶ崎芸術大学」、2016年「ゲストハウスとカフェと庭コロールム」開設。大阪市立大学都市研究プラザ研究員。2014年度文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞。



Photo by 村山康文

### 久保田 翠 Kubota Midori

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ代表理事。東京芸術大学大学院修了後、環境デザインの仕事に従事。長男の出産をきっかけに、2000年にクリエイティブサポートレッツ設立。2010年障害福祉サービス事業所アルス・ノヴァスタート。2018年たけし文化センター連尺町をオープン。2017年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。



<http://cslets.net>

### 都築 響一 Tsuzuki Kyuichi

1956年東京生まれ。ポパイ、ブルーラス誌の編集を経て、全102巻の現代美術全集『アート・ランダム』（京都書院）を刊行。以来現代美術、建築、写真、デザインなどの分野での執筆・編集活動を続けている。96年刊行の『ROADSIDE JAPAN 珍日本紀行』（アスペクト、のちちくま文庫）で、第23回木村伊兵衛賞を受賞。2012年より個人で有料メールマガジン『ROADSIDERS' weekly』を毎週水曜日に配信。



<http://www.roadsiders.com/>

お申し込み

お問い合わせ

メール または 参加フォーム(QRコード) よりお申し込みください。

mail [bunkamatsuyama@gmail.com](mailto:bunkamatsuyama@gmail.com)

参加フォームはこちら

